

「仕事と介護の両立支援に関するアンケート」ご協力をお願い

平素は市政に対し、深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本市では平成 26 年度に「第 3 次とよた男女共同参画プラン（クローバープランⅢ）※」を策定し、市民・企業・行政の連携のもと、男女共同参画社会の実現に取り組んでいます。

今回の調査を通して、働く方々が介護等で離職することなく、仕事との両立を実現することについて市民の皆様のお考えを把握することにより、女性も男性も性別にかかわらず働きやすく、魅力的な職場をつくっていくために、行政として支援できることを検討したいと考えています。

この調査は、40 歳代、50 歳代の市民 2,000 人を無作為抽出してお送りしております。お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 10 月

豊田市長 太田 稔彦

ご記入に際してのお願い

- ・回答は、設問ごとに該当する項目を選び、あてはまる番号を○で囲んでいただくものがほとんどです。○の数については、「1つに○」など指定をしています。
- ・回答の際「その他」に該当する場合は、具体的にその内容をご記入いただく場合があります。
- ・回答は無記名で、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることは決してございません。
- ・回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ

10 月 26 日(月)までにご投函ください。

(切手は不要です)

この調査に関するお問い合わせは、下記にお願いします
とよた男女共同参画センター(キラッ☆とよた)
(豊田市小坂本町 1-25 豊田産業文化センター2 階 月曜休館日)
電話：0565-31-7780 Eメール：clover@city.toyota.aichi.jp
お問い合わせ時間：午前9時から午後5時 担当：森

※ 第 3 次とよた男女共同参画プラン（クローバープランⅢ）は、豊田市における男女共同参画の取組を総合的かつ計画的に推進するための計画です。詳しくは、とよた男女共同参画センターのホームページ (<http://www.hm4.aitai.ne.jp/~clover/>) でご覧になれます。

(ご参考) 仕事と介護の両立のための支援制度

家族の介護を行う労働者が、仕事と介護の両立を支援するために、平成7年10月に介護休業が法制化されて以降、介護休業、介護休暇や労働時間の短縮等の支援措置が充実されてきました。

現在の育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）で定められている主な支援制度は、次のとおりです。

介護休業	<p><u>介護のために仕事を一定期間、休める制度</u></p> <p>要介護状態の対象家族1人につき、要介護状態に至るごとに1回、通算して93日を限度に介護のために仕事を休むことができます。</p>
介護休暇制度	<p><u>介護などの必要がある日について仕事を休める制度</u></p> <p>対象家族が1人の場合は年に5日まで、2人以上の場合は年に10日までを、介護の必要がある日に休暇を取得することができます。</p>
短時間勤務 制度等の措置	<p><u>短時間勤務等ができる制度</u></p> <p>次の4つのいずれかの措置を受けることができます。どの制度を利用できるかは企業によって異なります。</p> <p>① 所定労働時間を短縮する制度（短時間勤務制度）</p> <p>② フレックスタイム制度</p> <p>③ 始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ（時差出勤制度）</p> <p>④ 介護サービスの費用の助成等</p>
法定時間外 労働の制限	<p><u>残業時間に一定の制限を設ける制度</u></p> <p>1か月に24時間、1年に150時間を超える時間外労働を制限できます。</p>
深夜業の制限	<p><u>深夜の就労を制限する制度</u></p> <p>深夜（午後10時から翌日午前5時まで）の就労を制限できます。</p>

この他、転勤に対する配慮や、これらの両立支援制度を利用した従業員への不利益な取扱いを禁じています。

また、企業等によっては、育児・介護休業法を上回る支援制度を設けている場合もあります。お勤めの企業等にご確認ください。

○各種制度のお問い合わせ先

介護休業等	愛知労働局雇用均等室（052-219-5509）
-------	--------------------------

仕事と介護の両立に関する市民アンケート調査

I. ご回答者について

問1 あなたのことについてお尋ねします。

(1) あなたの年齢 (1つに○)

* 平成27年9月末現在

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 40～44歳 | 2. 45～49歳 | 3. 50～54歳 | 4. 55～59歳 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

(2) 性別 (1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

II. 仕事と介護の両立について

問2 「超高齢社会において、仕事と介護の両立を図ることが必要である」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 非常に共感する | 2. ある程度共感する | 3. あまり共感しない |
| 4. まったく共感しない | | |

問3 育児・介護休業法に基づき、企業等は介護休業、介護休暇、時間外労働の制限、転勤に対する配慮などに取り組む必要があることを、ご存知ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない | 4. まったく知らない |

問4 「介護休業」制度の内容について、ご存知ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない | 4. まったく知らない |

問5 高齢者の介護等について相談する機関である、地域包括支援センターについて、ご存知ですか。(1つに○)

* 市内に25箇所あります。(平成27年4月現在)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない | 4. まったく知らない |

問6 「介護休業」を要介護者の家族が、今後の仕事と介護の両立に向けた準備期間（介護サービスを受けるまでの準備期間）として活用する」という考え方がありますが、ご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない | 4. まったく知らない |

問7 あなたのまわり（職場、親族、知人・友人）で、仕事と介護の両立に取り組んでいる人をご存知ですか。（1つに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. どのように両立しているか、よく知っている |
| 2. 聞いたことがあるが、どのように両立しているかは、よく知らない |
| 3. 両立している人について、聞いたことがない |

問8 あなたは、仕事と介護の両立について、どのようにお考えですか。（最も近いもの1つに○）

* 介護をしていない人は、そのような状況に直面した場合を想定してお答えください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. できるだけ両立したい |
| 2. 介護は配偶者・親族に任せて、仕事を続けたい |
| 3. 仕事は続けたいが、介護をする状況になったら仕事を辞めるしかない |
| 4. 仕事より介護を優先するので、仕事を辞める |
| 5. 今後、介護が必要となる該当者がいない |
| 6. わからない |

Ⅲ. 仕事について

問9 あなたは現在、就業していますか。（1つに○）

* 家庭の外で報酬を得る仕事

- | | | | |
|-----------|--------|----------------|--------------|
| 1. 就業している | 2. 休職中 | 3. 就業していたが退職した | 4. 就業したことはない |
|-----------|--------|----------------|--------------|

※問9で「2」「3」とお答えの方にお尋ねします。その他の方は問10へ

問9-2 休職・退職の理由（主なもの1つに○）

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1. 結婚 | 2. 出産 | 3. 育児 | 4. 介護 | 5. 病気 | 6. その他 |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|

問18 あなたは、仕事と「手助け・介護」を両立することに、どの程度、不安を感じますか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|-----------|------------|
| 1. 非常に不安を感じる | 2. 不安を感じる | 3. 不安を感じない |
| 4. まったく不安を感じない | 5. わからない | |

※問9-2で「介護」を理由にお仕事を辞めたとお答えの方にお尋ねします。その他の方は問20へ

問19 あなたが「手助け・介護」を機に仕事を辞めた理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 仕事と「手助け・介護」の両立が難しい職場だったため |
| 2. 自分自身で「手助け・介護」するとサービスなどの利用料を軽減できるため |
| 3. 自分の心身の健康状態が悪化したため |
| 4. 施設へ入所できず「手助け・介護」の負担が増えたため |
| 5. 在宅介護サービスを利用できず「手助け・介護」の負担が増えたため |
| 6. 家族や親族からの理解・協力が十分に得られなかった又は家族や親族が「手助け・介護」に専念することを希望したため |
| 7. 自身の希望として「手助け・介護」に専念したかったため |
| 8. 要介護者が「手助け・介護」に専念することを希望したため |
| 9. 「手助け・介護」を機に辞めたが、理由は「手助け・介護」に直接関係ない |
| 10. その他() |

IV. 親などの介助について

※すべての方にお尋ねします。

問20 現在、手助け・介護が必要な親などの有無(1つに○)

*あなたの親、配偶者の親、配偶者、同居している祖父母等を対象とします。

- | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|
| 1) いない | 2) 1人いる | 3) 2人いる | 4) 3人以上いる |
|--------|---------|---------|-----------|

※ 1) いないとお答えの方にお尋ねします。

問20-2 今後5年間のうちに、親などが「手助け・介護」が必要になる可能性がありますか。(1つに○)

- | | | | | |
|----------|---------|-----------|---------|----------|
| 1. かなり高い | 2. 少しある | 3. ほとんどない | 4. 全くない | 5. わからない |
|----------|---------|-----------|---------|----------|

※問25で「3.介護休暇」「4.勤務時間の柔軟化」とお答えの方にお尋ねします。

問27 介護休暇や勤務時間の柔軟化を利用したことによって、どのようなメリットがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護者に対する「手助け・介護」が十分にできるようになった
2. 仕事と介護の両立による疲労やストレスが軽減された
3. 家族間で介護の分担ができ、介護による疲労やストレスが軽減された
4. 仕事を辞めずに続けることができた
5. その他 ()

V. 市に期待する施策

問28 今後、仕事と介護の両立を推進するために、豊田市にどのような施策の「充実」を期待しますか。(特に重要なこと5つまで○)

1. 事業主や人事担当者への意識啓発
2. 事業主や人事担当者からの具体的な相談への対応
3. 冊子・ホームページなどで、企業や個人が取り組んでいる両立支援に関する事例紹介
4. 働きやすい職場環境整備を行っている優良な企業の表彰、認定
5. 公共事業の選定で、両立支援に取り組む企業を優遇
6. 就業者を対象とした職場の相互理解の雰囲気づくりのための講演会・講座
7. 介護現場で働くケアマネジャーや相談員に、両立支援に関するセミナーや情報の提供
8. 近所での助け合いの推進
9. 生活支援サービスを行う民間事業者の情報収集・提供
10. 介護保険サービスの充実
11. その他 ()
12. 特になし

問29 仕事と介護の両立について、お考えや豊田市に期待することなどを、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました

10月26日(月)までにポストに投函してください。